



危険！紙・シール・ポリ袋の誤飲事故

事例 1

娘が一人で遊んでいるようだったので放っておいたら、突然「おえっ」という声が聞こえた。見ると、口いっぱい新聞紙を頬張っていた。(当事者：0歳 女児)

事例 2

息子が、何度も貼り直して遊べるシールブックで遊んでいる最中に、突然苦しそうにせき込んだ。見ると、口の奥に丸まったシールが詰まっていた。(当事者：1歳 男児)

事例 3

レジ袋を握ってシャカシャカと音を出して遊んでいた息子が、生えかけの歯でビニールをちぎってのどに詰まらせた。(当事者：1歳 男児)



ひとことアドバイス

- 東京都が6歳以下の子どもがいる保護者を対象に行ったアンケート調査によると、子どもが異物を飲み込んだ、または飲み込みそうになった事故で、最も多かったものは「紙類」、次いで「シール」でした。
- その他にレジ袋やお菓子の袋等「ポリ袋」の誤飲もあり、中には息ができなくなって救急車を呼んだケースもありました。
- いずれもごく身近にある日用品のため、

危険性に対する認識が低く油断してしまいがちですが、一步間違えると窒息することもあり非常に危険です。

- ティッシュや新聞紙等は子どもの手の届かないところに置く、レジ袋で遊ばせない、お菓子は必要に応じて包装を取ってから食べさせる等、日ごろから十分な注意が必要です。

